



2020.08 No.03

TAKE FREE
ご自由にお持ちください。

イノベーション ×

リノベーション



リノベーションとは、建物を改修することで新しい機能や価値を生み出すこと。いまこのまちでは、新しい建物がどんどん増えている中でも、古いビルの中でも、外見はそのままに、様々な変化やドラマが次々と起きています。今号のテーマはリノベーション × イノベーション。古いビルの中から、あるいはいつもと同じ風景の中から、まさに新しい風や変化をもたらす方々取材しました。



錦二丁目に生まれたオーブンクラウンで
自由に学ぶ、遊ぶ、挑戦する、発信する・・・
多彩な個性と感性が色とりどりの糸のように交わり織りなす先に
どんな未来のまちの景色が見えてくるのだろう

アートアミングの展示から一年。綿覚ビルが生まれ変わることになった経緯は？

ましょうと返事しました。まずはオーナーさんのビルに対する考えを知りたかったし、詳しい構造や質がかかるので一旦引き払って、そのまま借り続けていても空いているし建物自体の状態もすぐいいので、できればここで何かしたいなと思っていました。思いをうまく形にできる人との出会いがあれば、と考えていた時にまたま間宮さんに出会って、アロデュースをお願いしようと思をかけたのがきっかけです。

間宮:突然の相談だったので、とりあえず一緒に不動産屋さんに行き

間宮:長者町といえば過去三回わたってトリエンナールの会場となったまち。にもかかわらず、グラフィックレベルでの文化的な取り組みがほとんど残っていないのがもったいないと感じていました。名古屋

間宮さんが長者町・錦二丁目エリアに関わるのは今回が初めてのこと。それまではどんな印象でしたか？

武藤:逆に僕は、これまでこのま

ちに関わってきた立場として、長者町では民間主体で文化的な何かで人を呼べるような場を始めるのは難しいと感じていました。一階の高い飲食店に貸すスペースが多くなってきたまち。にもかかわらず、グラフィックレベルでの文化的な取り組みがほとんど残っていないのがもったいないと感じていました。名古屋

と印象しました。

屋の中心でアートを受け入れてきた実績があるのに、目頃から人々の往来を生み出すようなイベントから具体的なアイデアや企画をしっかりと作り込まなくても、様々なジャンルの発信力のあるクリエイターたちが集まり常に交流できるところをつくれば、そこから自然と面白い動きが生まれる。その背景に持つ錦二丁目・長者町らしいネーミングが決まりました。名古屋の真ん中でこんなことをしてみたいという思いを持った人が常に集まり、挑戦し形にすることができると、そんな場所を目指していきます。

間宮:織維のまちとしての歴史を背景に持つ錦二丁目・長者町らしいネーミングが決まりました。名古屋の真ん中でこんなことをしてみたいという思いを持った人が常に集まり、挑戦し形にすることができると、そんな場所を目指していきます。

間宮さんから聞いた「グラフィックの重要性」は斬新でした。最初から具体的なアイデアや企画をしっかりと作り込まなくても、様々なジャンルの発信力のあるクリエイターたちが集まり常に交流できるところをつくれば、そこから自然と面白い動きが生まれる。その背景に持つ錦二丁目・長者町らしいネーミングが見えたような気がしました。

何本もの糸が織り合う様子
を養ったというロコクラブと新しい「コットンビル」という名前
のイメージそのものですね。

【KAISYOOOOOO Vol.2】でもお伝えした錦二丁目発のカルチャープロジェクト「アート・ファーマーミング」。そのメインイベントとして昨夏、アーティストたちによる作品の展示会場となった綿覚ビルが、このほど全面的なリノベーションを経て名前も「長者町コットンビルディング」と改められました。ジャンルを越えたカルチャーの交流拠点、情報の発信基地としてここから新しいムーブメントが生まれようとしています。オーブン直前、仕掛け人であるアーテイストの武藤勇さん（写真右端）とビルをプロデュースする建築家の間宮農一さん（写真右から2人目）にインタビュー。二人が考えるこのまちの課題と、未来に向けて描くビジョンについてお聞きしました。

長者町コットンビルディング



コトノハビル



コットンビルのグラントフロア（1階部分）は、天井の高さと開放感、広い興行きを生かして、イベントや展示、オープンなミーティングなど誰もがフレキシブルに利用できるスペースとして活用される予定。2階から5階までのフロアには、アーティストやクリエイターらのオフィスのほか、ダンススタジオなどの入居が順次決まっています。今後は多方面に広い繋がりを持つ間宮さんと武藤さんが中心となり、魅力的なコンテンツとなる人やお店などを誘致し、ビル全体をさらに充実させていきたいとのこと。

今回はコットンビル内にオフィスを移転することになった名古屋を代表する二人のクリエイター、WEBMAGAZINE「LIVERARY」などを手がけるフリーエディターの武部敬俊さんとユネスコ・デザイン都市なごやプログラム・ディレクターの江坂恵里子さんに、コットンビルを新たな拠点に決めた理由、このまちに対する思いなどをうかがいました。

平成元年のユネスコデザイン都市宣言以降、私たちは名古屋で「シッククライアント」についていろいろ考えてきました。でも、まちの整備力は誰かが単独でやってもなかなか広がっていきません。違う分野の人どうしが垣根を越えてつながる場の必要性はすこと言われ続けてきたことでもありません。頑張り返す、それでいて長続きするような仕組みが名古屋にはほとんどない。だからこの場所がその使命を果たしてくれることを期待して、私自身も個人のオフィスを構えることを決めました。みんなで難しいことに挑むわけですが、とりえず同じ船に乗ってみて、楽しみながら前を目標そうというのが今回の動きなのですが、と感じています。まずはインフラを整え、みんなが快適に過ごせるようにすることが大事ですね。個人的には自分のオフィスを開放して、たくさん揃っているユネスコデザイン都市に関わる資料を広く活用してもらいたいのです。この場所を選んだ理由が人たちが出会うことによつて、新しい産業や仕事を生み出していけるようなインベティナな発想の場になるといいますね。そのためにはわかりやすい場所であることも重要。そういう点でも綿二丁目是最適です。もともと名古屋を代表する企業が多く集まるまちですしね。



江坂恵里子さん
ユネスコ・デザイン都市なごやプログラムディレクター



武部敬俊さん
WEBMAGAZINE「LIVERARY」
などを手がけるフリーエディター、ライター、デザイナー

去年の夏に行われたイベントを見にきたときに初めてこのビルを知って、面白いなと思いました。場所萌えしちゃったんですよ（笑）。だいたい場所を見ただけですぐに何をしようか具体的にアイディアやイメージが浮かんできますね。ここを見た時もそんな感じでした。ただ、いい場所だと思っても借りられるかどうかかわらないとか、誰に聞けばいいかわからないことが多いですよね。でもここはその後で借りることができるとわかったので、じゃあ自分の事務所も移転しちゃおうと。1階部分を使って仕掛けたいこととか、すでにいろいろ考えています。事務所が同じビルの中にあるとイベントの際に持ち出しやすいものがすぐ出せるのも便利で、ミーティングなどがしやすいようなのもいいですね。県内外から繋がりがあるアーティストやミュージシャンたちを呼んで、事務所オープン記念のイベントを企画しています。綿二丁目には、いろいろ変化してるけどいい意味で変わり過ぎていなくて、隙間がたくさんありそうなのが魅力ですね。今池や大須みたいになく、まじさや個性の強い面白いまちはたくさんありますが、自分としてはあえて、また色が着いていない場所から何かを始めたい。そういう意味でもここから仕掛けていくこれから楽しみです。



5
長者町コットンビル
名古屋市中区錦2丁目11-24
名古屋市営東山線 / 伏見駅 徒歩7分
名古屋市営桜通線 / 丸の内駅 徒歩5分

まちのプライドを受けつぐ「ゑびすビル」 ～新陳代謝を繰り返しながら歴史を刻む長者町のシンボル～

4F

若手クリエイターの アトリエ・イベントスペース

Apathy Lifestyle
Designer ナズ



「Apathy」は私が2年前に始めた下
層のアーティストショップです。主にキ
ャーからの発注生産。もともと自分の家で
作っていたんですけど、アトリエを持たな
いと思ってしまうほど物件を探していま
した。ここを紹介してもらったのは高島屋
です。名古屋に来る前は東京に住んでい
たんですが、地元ではなく出身は大阪なん
で、ちよことしんど
いなってという気持ち
もあってなんですよ。
と」って、それが5月ごろのこと。さっ
そく見せていただいて即決。ほぼ一目惚れ
です。私一人で使うより仲間と一緒にいる
んなことできそう空間だったので、す
ぐにアトリエやギャラリーやショップ
イナなどクリエイター仲間数名に声をか
けました。クリエイティブや展示、ポップ

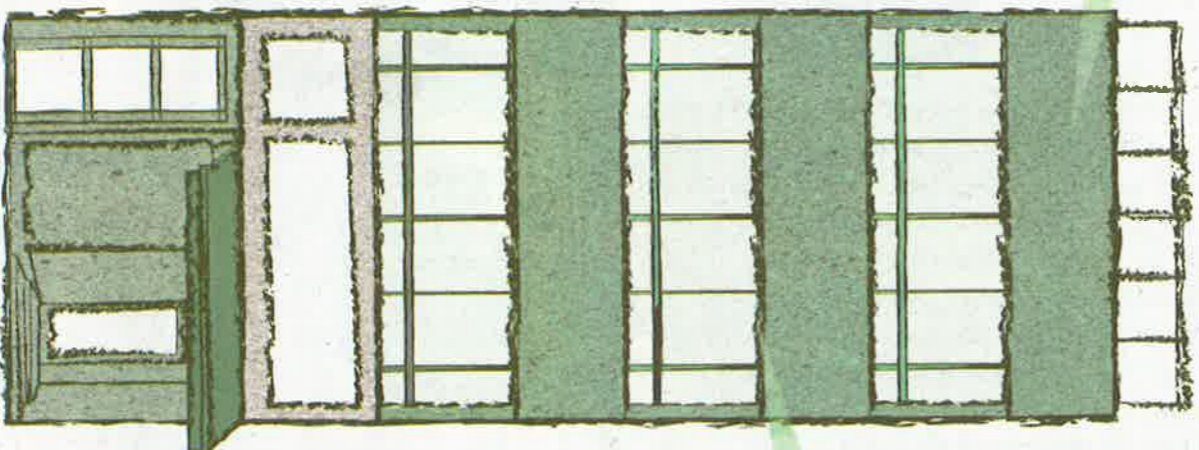


がりがつくりやすいということ。ネカナイ
アイン印象は全然ありませんでした。来る前
から絶対住みやすいだろうなって思った
し、いまはもう名古屋にずっと暮らして
います。自分にはコンプレックスだらけ
だったのに、不思議と自分の大きなお房さ
えかいいと思えたんです。それで自分用
の書籍を手作りし始めたのがきっかけ。は
い、いまが好きなんで
すよね。
どこで、下着のオ
ンやアンの方も増えました。海外で感じ
た多様な価値を受け入れる生き方を日本で
と珍いすよね。
私、10代のころにニ
ューランドにアト
リエに行っただけ
で、アトリエで、これからそんな気持ち
を大切に下書きくりしていきたくてす

共同アトリエ兼スタジオとして活用する 6名のメンバー紹介

- ナス (Apathy)** @---instagramアトリエ
2018年から東京拠点にアトリエ・アパティイ設立5上り
- CVABO (アーティスト)** @cvabo_artworks
2018年から活動開始。tattoo artを基調としたアート
- rerotozubu (画家、ビジュアルデザイナー)** @rerotozubu_art
- haruzion (画家、アーティスト)** @haruzion0628 @haruzion_g
会話に集まるをテーマに二度に出会ったことでの対話過去や今を
自身のスタイルを通して色彩豊かに描く。
- yuka oota (イラストレーター)** @yukaoota_827
- ムラセ (アーティスト)**

長者町は戦後の復興期に全国有数
の繊維問屋街として賑わい、一時代
を築きました。ところが平成に入り
繊維卸業の衰退などの理由から、ま
ちのあちこちに空き地や空きビルが
目立ちはじめます。そんななか若手
の経営者らの熱意が集まり、まちの
活性化対策として空きビルをリノ
ベーション・再活用する事例がス
タートしました。その先駆けとなっ
たのが平成14年に誕生した「長者
町ゑびすビルパート1」です。常に
若い世代やトレンドに敏感な客層を
呼び込むテナントがフロアを埋め、
注目を集めてきたゑびすビル。その
後3棟に増え、いまやすっかりまち
に根付いています。そして今年、ま
ちの魅力的で新しい顔ぶれが仲間入り
することになりました。



5
名古屋市中区錦2丁目5-29
長者町ゑびすビルパート1
名古屋営業東山崎 / 伏見駅 徒歩7分
名古屋市営津通線 / 丸の内駅 徒歩5分

3F

まつモエクステンション 2号店目

オーナー
大島直也



3年ほど前から東区の高岳アトラッ
ション(まつモエクステンション)を継
承して、今回、2号店をゑびすビル
もらったんですが、正直に言うと、最
初にこの完成イメージができていて、
うーと決めた理由は、まずこの部屋自体
に、形、雰囲気自体は気に入っていて、
すぐにお店の完成イメージができて
と、高木さんが「この独特の怪しい雰囲
気を逆にうまく利用して、お客さんの想像
し入ってみたいなる飲食店もたくさんあ
って、思っていた以上に活気がありますね。
ただ、築30年や久屋大通のようにおし
やれな人が行き交うアトラクションなま
ちと違い、でも、実はどちらにも距
離的には非常に近いし、エリアを区別して
お互いがつながらないのはもったいないで
すよね。名古屋の中心を多様な人が回す
ようになれば、まる全体がもっと楽しく
なると感じています。



うーと決めた理由は、まずこの部屋自体
に、形、雰囲気自体は気に入っていて、
すぐにお店の完成イメージができて
と、高木さんが「この独特の怪しい雰囲
気を逆にうまく利用して、お客さんの想像
し入ってみたいなる飲食店もたくさんあ
って、思っていた以上に活気がありますね。
ただ、築30年や久屋大通のようにおし
やれな人が行き交うアトラクションなま
ちと違い、でも、実はどちらにも距
離的には非常に近いし、エリアを区別して
お互いがつながらないのはもったいないで
すよね。名古屋の中心を多様な人が回す
ようになれば、まる全体がもっと楽しく
なると感じています。



<KEA eyelashsalon 2号店>
9月OPEN 予定

やさしいところ

～福祉、医療、就労、地域の融合する新サービスが目指す社会～



細長い敷地に建ち並ぶ古いビル群はこのまちらしい風景。その一角に、IMOM SPACE(イムオムスペース)があります。コワーキングやレンタルスペースとして利用することができます。障害のある方の就労支援の場にもなっています。

IMOMのこだわりは「施設外就労」です。IMOM SPACEを拠点にしながらも、障害のある方が積極的にまちに出て、働いています。実はこのフリーペーパーの配架もIMOMの皆さんのおしごとです。錦二丁目の多数の企業と提携を結び、まちなかに働く場を積極的に展開されている松田社長に、その思いを伺いました。

我々が目指しているのは寛容な社会です。障害のある方の社会参加のサポートをまち全体で行っていくことによって、様々な就労の機会が得られます。一方で、参加する個人や企業の考えが変わることも期待しています。一人ひとり、一つひとつの企業が少しずつ寛容になること、そんなまちなら、障害のある人だけでなく、全ての人のにとって働きやすくなるから、暮らしやすいと思うからです。

(株) IMOMの松田社長

名古屋市中区錦2丁目6-19
長者町通ビル4F
名古屋市営東山線 / 伏見駅 徒歩7分
名古屋市営桜通線 / 丸の内駅 徒歩5分

START!

Smooth Employment Town by Achieving Rebuilding Tolerance

2020年4月、IMOM SPACEを拠点に、スタートアップ4者が新サービス「STARTプロジェクト」をはじめました。提携するのは「IMOM」と、アリアをつかったメンタルトレーニングを開発した精神科医が運営する「メンタルコンパス」、単発の仕事を紹介するスキマバイトアリアの「タイムミ」、そして地域から「錦二丁目エリアネットワーク」です。きっかけは、愛知県のスタートアップ支援事業AOAでの出会いです。「寛容な街づくり」に向けて思いを同じくした4者によるサービスとは？

就労に関しては様々な課題があります。障害のある方の多くは、能力があっても、継続した就労や契約が厳しい中で経験を積めずにいる。一般の方でも単一の就業経験での思い込みなどで再就職の判断が難しいという場合もあります。そこで、スタートアップならではのアイデアとサービスで、地域をあげて就労を支援しようというプロジェクトです。

メンタルコンパスのアリアを活用し、精神科医による心のケアと訓練を受けた上で、賛同するタイムミ提携店舗や営業所で単発の仕事に挑戦することができます。IMOMは様々な体験を通して就労につなげられるようサポートします。錦二丁目エリアマネジメントは、賛同する店舗・営業所をひろげ、まち全体でやさしいところを目指します。

ご興味のある事業者様は、「錦二丁目エリアマネジメント」までご連絡下さい。

メンタルコンパス株式会社
精神科医によるメンタルトレーニングで成長する法人へ導入企業を募集しています。



株式会社タイムミー
タイムミーは空いた時間に働きたい人とすぐに人手が欲しい店舗・企業をつなぐキープライアントアリアです。



株式会社IMOM
軽作業を発注して下さる事業者様を募集しています。



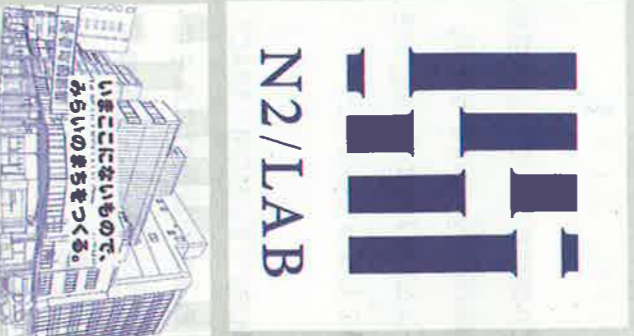
N2 - DASHBOARD

エリアプラットフォーム「N2/LAB」始動！

この7月に、企業や行政、様々な団体と地域が連携して、新しいまちのサービスや技術・アイデアを積極的に実証・実験するためのプラットフォーム、N2/LAB(エヌ・ツー・ラボ)が始動しました。新型コロナウイルス感染症など今までにない危機が社会を襲い、地球温暖化による洪水や夏の暑さがひどくなるなど、様々な課題が生まれる中、名古屋市や愛知県などの行政、大企業からベンチャー企業まで意欲と理解のある14の企業、その他さまざまな団体の協力のもと、この地区をフィールドとして、新しい技術やサービスを共に考え、試し、実現していきます。扱うサービスも様々で、コミュニティの困りごとである防犯や防災から、移動や交通、そして文化・アートまで、地域と社会のあらゆる課題に挑戦します。早ければ、この夏から、まちのどこかで、未来の社会のための実験が行われるようになるかもしれません。

まずはそのスタートとして7月21日から、4回に分けて未来のまちづくりを学び合うオンラインイベントを行いました。最先端の技術を持つ企業や熱意あるベンチャー、地元でコソコソと社会活動を続ける団体など様々な立場から、未来に望むまちやコミュニティについて分かち合うことができました。取り組みの概要やイベントの様子はHP(<https://n2-lab.jp>)でもご覧いただけますので、ご興味のある方は是非ご覧ください。(メンバーも随時募集中です！)

そのうち、この地区から生まれた新しいサービスが、全国に、そして世界に広がる日も来るかもしれませんね。



「LOVERS' NAGOYA」創刊！第1号は伏見・丸の内編

ストリートウツキが3代目に生まれ変わりました

3月21日から22日の2日間で名古屋セクタール南側のストリートウツキが更新されました。職員など様々な方々が集まって、感染症対策に気を配りながら解体と施工を行いました。

2012年から設置されている豊田市産材で出来たフツキ・ベンチストリートウツキも設置から8年目、こころづき体が入新となります。毎回、都市の木質の姿もおなじみのまちの風景に化「プロジェクトメンバー」を中心りました。これからも長く、そして地域の有志などが自分たちで解出来ればよりますのあちこちで、体と施工を行っています。今回も、プロジェクトメンバーやまちな有志をはじめ、名古屋大学の学生およ

3月21日から22日の2日間で名古屋セクタール南側のストリートウツキが更新されました。職員など様々な方々が集まって、感染症対策に気を配りながら解体と施工を行いました。

2012年から設置されている豊田市産材で出来たフツキ・ベンチストリートウツキも設置から8年目、こころづき体が入新となります。毎回、都市の木質の姿もおなじみのまちの風景に化「プロジェクトメンバー」を中心りました。これからも長く、そして地域の有志などが自分たちで解出来ればよりますのあちこちで、体と施工を行っています。今回も、プロジェクトメンバーやまちな有志をはじめ、名古屋大学の学生およ

「LOVERS' NAGOYA」創刊！第1号は伏見・丸の内編

は「名物」より「好物」をキーワード([stores.jp](https://loversnagoya.stores.jp))のほか、第二丁目地区内では本冊子でも紹介されてエリアマネジメント株式会社も取材協力を行いました。この地区の多くの方に愛される老舗やカフェから知る人ぞ知るアテナをお店まで知っている人も知らない人も二やりとしてしまいそうな、この地区の魅力を存分に詰め込んだ案内本になっていきます。このまちの風景を切り取った様々な写真も魅力今ままで気つかないような風景もあるかもしれません。インターネット



てご覧ください。

です。機会があればぜひ手にとってご覧ください。

は伏見・丸の内エリア1錦二丁目STANDで購入することが可能です。機会があればぜひ手にとってご覧ください。



いつでも、誰でも、お気軽に、

Vdrug! ナチ健康診断

大切な身体の健康状態、V-drugでチェックしてみませんか？

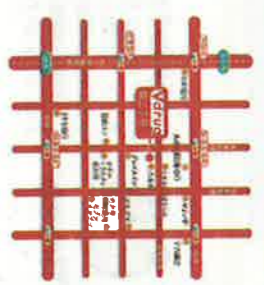
第二丁目の「ナチ健康診断ブース」には、ベジチエックマシン、血圧年齢測定器、骨健康度計測器、糖化測定器を設置しています。お客様の好みやタネミソグで、いつでも無料で測定可能です。お買物ついでにぜひ、立ち寄ってみてください。

My Best Store Vdrug 錦二丁目店

いつもご利用ありがとうございます。

第二丁目6番1号にVドラッグ錦二丁目店をオープンさせていたいた5ヵ月になりました。店舗の通常営業時間は平日8時～23時、土日祝9時～22時となっております。

お客様のこ来店をスタッフ一同、心よりお待ちしております。



ひと月、たったの1000円サナクスコーヒー

第二丁目店では入口すぐのところにかフェスベースを併設。何杯飲んでも飲み飽きない2種類のコーヒー豆でこだわりのブレンドしています。当店限定のお得なコーヒー定期制(サナクス)では、コーヒーと女性に人気のカフェラテも期間内飲み放題をおたのしみいただけます。

※1日お1人様3杯までとなります。

二丁目の夕日

No.03

「わたしたちはこれからどこにどことしているの?」



文・挿絵
ぎゃりゅう 中野天
服部 清人

スイッチひとつでいつも電氣は灯る。蛇口をひねれば必ずきれいな水が出る。電車は一分と遅れることはなく、乗客はきちんと列をつくって整然と乗り込む。娯楽施設は街に溢れ、スーパーにはありとあらゆる食材が並び、健康保険や年金の制度も充分とは言えないが、まあなんとか機能している。日本社会は確かに進化し成熟したように思える。それでも政治も経済も科学も人間の営みはたゆみなく前を向く。「もうこの辺でいんじゃない?」と消極的な発言も聞かえてきそうだが、そうは済まないものらしい。かつて二〇〇九年の民主党政権において「コウケンリートから入」というキャッチフレーズが掲げられたが、もうひとつ踏み込んで「もうぐりから入るものがたりぐり」と移行する時期が来ているのではないか。知の探究は人間の性であり、これはどこまでも突き詰めていくべきものであるが、それとともに情というものが伴っている。それが肝心。そしてもっとよくなるという意志の力の意。夏目漱石の『草枕』の冒頭「智に働けば角が立つ。情に棹させば流される。意地を通せば窮屈だ」とあるように、智と情と意がハムスとく機能することが人間として、集団として、地域として、国家として、とても大事なことであると思う。

地球はインターネットで繋がり、生活は格段に便利になった。その結果として原弊の事故が起きてしまったわけだ。我々は行き過ぎた経済原理主義、効率至上主義からの脱却を真剣に模索する段階にきているのではないか。

「パパ、わたしはこれからどこにどことしているの? プライムルームを手にした小さな女の子が手をつないだ父親を見上げながら商店街を通り過ぎて行く。

長者町おじさん モノ語り

100年の時を越えて味わい深まる古レンガ



※長者町おじさん、こと豊島区三軒がらみセンターで現在時代：収集を始めた... 秘蔵のおもちゃコレクション。アメリカでの思い出とともに、たからものたのみのストーリーをご紹介します。

ブリキのおもちゃの魅力を話し出すと止まらなくなってしまう。手に取った時の手触りも、なんとも言えず懐かしくていいものですね。ところで「ブリキ」の語源を知っている? 「bidz=ブリック」というオランダ語から来るといいうのが一般的だけどほかにもいろいろある説があるとも言われている。昔、私が聞いた説も真偽は定かでないが、なかなか面白いですよ。戦前、工場の煙突などに使うため日本はイギリスからレンガをたくさん輸入していたんです。当時、輸入されたレンガは金属製の箱に入って運ばれていたらしい。ブリキというのは薄い鋼の板に錫をメッキしたもので、このことで、レンガを運ぶ入れ物がまさにブリキ製の箱だったというわけ。その頃は箱そのものに特に名前は無くて、中身のレンガのことをブリックと呼んでいたんだけど、いつしか箱そのものがブリキと呼ばれるようになったというんだね。英語の「brick」と綴りは違うが、なるほど、と思える話だよな。このレンガもね、その時代に輸入された古

いものなんですよ。明治44年ごろにこれを使って豊島の関連会社が工場の釜を作ったんです。後にその工場を買収して建て替えを行ったので、これも取り壊しの際に出た中のひとつというわけ。100年以上前のもので、その工場で作られた製品で仕事をした記録の書類も残っているのって聞かないよ。一見、何の変哲もないレンガだけど、新しいものと違って焼け跡が残っていたり、角が欠けていびつになっっていたりしていい味が出てるでしょ? 何年前かにね、ある日たまたまテレビを見ていたらね、名古屋の有名な建築家が「100年前のレンガが手に入ったので内装に使います。」と言ってこれと同じものを使っておしやれな飲食店を作る様子を紹介していたんですよ。あのレンガも間違いないよ。この仲間だと思えば、きっとどこかでも活躍しているんだらうね。古いものには時間を経ることでよって滲み出る深みや味がある。そういうものにはどうして思入れれが深くなりますね。

今後の土地活用でお悩みの地権者さま、 解体工事を行いたい施主様へ まずは一括見積のサービスが便利です

無料一括見積もりフォーム

QRコードより
アクセス
してください。

※第二丁目に立地していない
建物でもサービスを利用する
ことが可能です。



第二丁目では、度々古い建物の解体工事に伴う近隣トラブルがおきております。解体業における多重下請けの業界構造が、良質な工事会社への直接発注の障壁になる面もあります。

そこで、評判の良い解体工事会社のマッチングサービス「くらそうね」をご紹介します。

Web上で物件情報を入力するだけで、AIが最大10社の解体工事会社の予想金額を表示して一括見積もりを依頼できる新サービスです。このサービスでは工事会社の定量的な評価や工事事例、口コミを確認することができ、評判のいい工事会社を選択することが可能です。無料の見積サービスなので、気軽に利用できます。

必要に応じ、クラツナーネの専門スタッフが、見積もり内容のアドバイスや、工事会社との調整をサポートします。



CRASSONE X NISHIKI12

株式会社クラツナーネと、第二丁目エリアでマネジ
メント株式会社は、第二丁目エリアの解体工事を
円滑に行うことを通じてまちづくりをサポートす
ることを目的に、業務提携をしております。

